

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(3)年度 This is my town.
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他(生活・身辺自立・行動の切り替え)
	単元・題材名	This is my town.
	授業の目標	・自分の町にあるものやそこでできることを紹介することができる。
	学力の3要素	<input type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (6)年 (6)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input checked="" type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ・ipadを使い教師が様々な視覚的情報を提示して説明したり、児童が無理なく課題の演習を行える。 ・インターネットや学習ツールを使って意欲的に学ぶ力を育てる。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	・iPad(ロイロノート) ・大型テレビ ・アップルペンシル
授業展開	授業展開・支援の手立て	 <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語を学習する際、ロイロノートにイメージ画像の付いた新出単語カードを取り込んで、英単語を見て想像できるようにした。イメージと意味が結びつきやすいように語源の説明も行った。 ・英作でもロイロノートを使用し、「I live in～」 「We have～」を使って自分の町にある建物や場所の紹介文を作成した。英単語の書かれたカードをいくつも用意し、その中から選んだり並べたりしながら自らの力で英作できるようにした。 ・作成した文を教員が添削して返却し、訂正したものを児童に発表させた。見ている児童にも理解できるように、作成した文章を大型テレビに写しだし視覚的にも情報を得られるようにした。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新出単語はヒントを加えながら少しずつ絵を見せていくことで、英語が苦手な児童も集中して授業に参加することができた。 ・書くことが苦手な児童も単語カードを並べることで、無理なく文の構造を理解したり、英作をすることができた。 ・ロイロノートを使うことで、間違えた文章を消したり添削された文章を書き直す作業を進んで行うことができた。 ・ipad等の支援機器を活用することで、聾学校の特性を踏まえつつ教科書の内容をバランス良く学習することができた。